

# とうきょうすくわくプログラム

## 諏訪幼稚園 活動報告書

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

砂遊びを通して子どもたちの豊かな心の育ちをサポートし、主体的・協働的な探求活動を通じて、幼児教育・保育の充実を図ることを目的とする。

<テーマの設定理由>

ダイナミックに遊べる環境に変え、イメージをよりリアルな形にする楽しさを知るとともに、感触を味わったり、砂の性質を知ったり、友だちと話合いながらつくり進めていく楽しさを味わったりして、様々なことを経験させたいと考えている。

### 2. 活動スケジュール

砂遊び 外遊びから

- ・砂の感触を味わうとともに、砂の性質を知る
- ・イメージ通りに形にするために、道具の使い方を知る
- ・友だちと何をつくるか話合い、一緒に作り上げる

### 3. 探究活動の実践 <活動の内容>

<A> 子どもたちがイメージをふくらませて、すぐに展開できるように毎朝砂の掘り起こしをし、それをみた子どもたちがスコップを持ってきてまねをするところから次々と子どもたちが集まってきて、クラス・学年を超えて大きな山をつくりあげていった。



〈B〉 泥団子が作れるようになり、「せんせいみて〜」「いっぱい作ったよ」「お団子屋さん」とイメージをふくらませて、子ども同士のやりとりもふくらんだ。



#### 4. 振り返り <振り返りによって得た先生の気づき>

大人が思っている以上に子どもたちのイメージがふくらみ、展開していくことが多かった。型を使っていろいろなものをつくりおままごとにも。おうちでの大人のやりとりや様子をよくみており、マネをすることで楽しそうにしていた。また、別の日には園庭のプラタナスの葉を用いて、展開する場面もあった。ひとりで黙々と集中している子もきっかけがあると、遊びがつながっていく様子が見られた。手が汚れても気にすることなく、のびのび遊べるようになったことも印象的だった。

子どもたちの日常からの気づきの多さにもあらためて驚き、この活動内での興味を次の活動に繋げて進めていけたことで、子ども自身が進んで考えを共有し、日常保育の製作では完成形が決まっている物が多いので、自由に表現する経験も今後の保育に活かしたいと考えた。子どもたちだけでなく、保育者の学びにもつながった。